

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

京都市立鏡山小学校

令和7年10月6日
京都市立鏡山小学校
校長 東 智子
(TEL581-2183)
(FAX581-2184)

4月17日に、全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校6年生の結果がまとまりました。本調査は、国語科・算数科・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されています。教科の結果及び生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語科・算数科・理科）

3教科ともに、京都府平均・全国平均を下回りました。今後も継続して学力の向上に努める必要があります。

国語科より

話す・聞くに関する問題では、発言の目的や理由について考える問題で京都府平均・全国平均を上回り、これまでの学習の成果が見られました。

一方で文章全体の要旨を把握する問題や文章と図表を結び付けながら必要な情報を見つけて書く問題については、課題が見られました。

今後

- ・授業の中で、言葉と図で説明されている「ちらし」や「ポスター」などから、内容を読み取ったり必要な情報を見つけたりし、それを言語化して表現するようにしていきます。
- ・問題には会話や課題等、全て文章で書かれています。それを読んで理解するためにも、様々な種類の本を読んでいく機会をつくっていきます。

算数科より

資料から必要な情報を選び、立式し計算する問題では、全国平均・京都府平均を上回っていました。

数直線上に示された数を分数で書いたり、はかりの目盛りを読んだり、コンパスで作図したりする問題に課題が見られました。

今後

- ・数直線上の数を分数で表したり、はかりの目盛りを読んだりすることは、日頃から算数で活用する計算問題とは違い、定着しにくいです。学年を超えて復習したり、関係のある分野で復習したりすることを継続していきます。

理科より

領域・観点を問わず、全ての問題において京都府平均・全国平均を下回りました。

今後

- ・実験する際に、他の条件をそろえて比較する、種類をかえて比較するなど、児童の意見や考えを出し合い実験を進めていきます。
- ・蒸発・水蒸気など実験や観察を通して学んだ言葉を定着できるよう復習していきます。

児童質問紙調査から

読書は好きですか



分からないことや詳しく知りたいことがあった時 自分で学び方を考え工夫することはできますか



保護者の皆様へ

全国学力・学習状況調査には国語・算数・理科のテストと合わせて児童質問があります。その中から上記2つに絞ってお伝えします。

1つ目のグラフから本校児童は全国・京都府より、読書が好きな児童が多いと言えます。学校アンケートでは読書習慣がついていないという結果もでていましたが、読書が好きな児童が多いことはとてもうれしく思います。国語の分析にも書きましたが、本には色々な種類があります。読み物だけでなく、図鑑などいろいろな本を楽しんでほしいと思います。

2つ目のグラフでは、分からないことや詳しく知りたいことがあった時、自分で学び方を考え工夫することはできますかという質問で、できると答えた人が全国・京都府より少ない結果になりました。分からないとあきらめてしまう姿を学校の学習の中でも見かけることがあります。これからも粘り強く学習できるよう取り組んでいきます。

今回の調査結果を受け、鏡山の子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりを目指し、学校でも一層授業改善に努めます。ご家庭でも規則正しい生活や家庭学習の習慣化を意識しながら、子どもたちに積極的に関わっていただきますようお願いいたします。